

# 最後まで口から食べる

食は私たちが健やかに生きるために欠かせないものです。生命を維持するために必要な栄養を体に取り入れるだけでなく、老化を防ぎ美しさを保つ、病気を予防する、おいしく食べる事で心の豊かさや満足感をもたらすとともに、人間関係やコミュニケーションの形成に役立つなどの役割があります。しかし、加齢とともに食べるための周辺機能が低下し、低栄養や疲労、誤嚥性肺炎などを引き起こします。楽しい食事を続けられるコツや、嚥下機能を維持するリハビリについてお二人の先生からお話しをお伺いします。



参加費  
無料

申込み  
不要

開催

令和7年

7月26日

14:00-16:00 開場 13:30

会場

諏訪市総合福祉センター

湯小路いきいき元気館3階

交流ひろば

講師

諏訪赤十字病院  
リハビリテーション科部長

巨島 文子 氏

諏訪赤十字病院  
摂食嚥下障害看護認定看護師

古清水 元子 氏

えんげ  
嚥下障害とは

嚥下(飲み込む動作)に  
障害がある状態

むせる

咳き込む

飲み込み  
づらい

食べ物が  
口からこぼれる

喉に  
つかえる

時間が  
かかる

痰が出る

食べるのに  
時間がかかる



ライフドアすわ ☎0266-78-0477 ✉info@lifedoor-suwa.jp

主催 / ライフドアすわ(諏訪市地域医療・介護連携推進センター) 諏訪市医師会

共催 / 諏訪市、諏訪赤十字病院、諏訪社会福祉協議会